

第5回 災害情報協議会の開催について

「リアルタイムはん濫シミュレーション」の配信の説明

金沢河川国道事務所では、下記のとおり第5回災害情報協議会を開催します。今回の協議会では、平成19年6月15日より、あらたに情報提供する内容について説明し、梅雨時期を前に手取川、梯川沿川5市町（白山市、能美市、小松市、野々市町、川北町）及び石川県、金沢地方气象台と情報共有の強化を図ります。あらたな提供内容については、流域情報、水位予測、河道の危険度、リアルタイムはん濫シミュレーションの予定です。

記

1. 協議会目的

協議会は、手取川・梯川水系における河川・砂防の災害防災情報について各行政機関の連携及び共有化を図ることを目的として平成17年5月に設立しています。

2. 実施日時

日時 平成19年 6月11日（月） 13時から14時30分まで
場所 金沢河川国道事務所 2階 会議室

3. 構成機関

手取川、梯川沿川5市町（白山市、能美市、小松市、野々市町、川北町）及び石川県、金沢地方气象台、金沢河川国道事務所

4. 新たな情報提供内容

流域情報：手取川・梯川流域の雨量・水位の観測情報を提供します。

水位予測：今後3時間後の雨量予測をもとに河川水位を予測した情報を提供します。

河道の危険度：河川水位を縦断的に把握し、危険箇所をお知らせします。

リアルタイムはん濫シミュレーション：現実の水文気象情報に基づき、堤防破堤が予測される際、1時間後から48時間後までの想定される浸水範囲や水深についての情報を提供します。

【問い合わせ先】

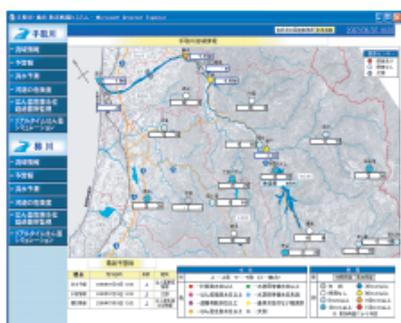
国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

調査第一課長 万行 康文

TEL : 076-264-8800（代表）

防災情報システムの一例

1 避難準備・勧告・指示の判断や避難誘導に



流域情報（手取川）

メリット

- 河川の水位・雨量の状況を一元的に把握することができます。
- 避難勧告の発令の判断をすばやく的確に行えるように支援します。
- 災害時要援護者の早期避難が可能になります。

2 水防活動の支援に



予警報

メリット

- 予警報の発令状況を図示してわかりやすく表示することで、的確な水防団の出動が可能になります。
- 上流の降雨、水位、洪水情報を監視することで、水防団員の招集や資材の準備が的確にできます。

3 治水施設の運用に

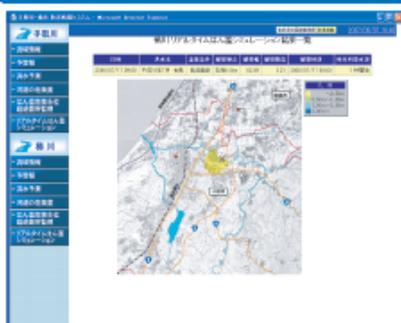


河道の危険度（平面図）

メリット

- 河川の水位を縦断的に把握することにより、適切に治水施設を運用することができます。

4 河川はん濫時の危機管理に



リアルタイムはん濫シミュレーション

メリット

- はん濫水の拡がりを把握することで、避難誘導がすばやく的確に行えるようになります。
- 災害時要援護者の早期避難が可能になります。
- 流域住民の避難準備や避難援護が、スムーズに行えます。